

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

2023(令和5)年1月15日/第57号



風早北部地域ふるさと協議会

大規模災害発生後に自宅(在宅)避難の継続を考えましょう

ライフラインが止まっても在宅避難 が出来る環境を保ちましょう

年末年始臨時増刊号(昨年12月28日までに当会ホームページに掲載)でお知らせした私ども風早北部ふるさと協議会が提起する避難手段につき、本号と3月上旬※の2回の配信でより安心できる避難生活の方策を紹介します。

※東日本大震災から12年を数えたこの時分に当会が推奨する避難方法をご案内します

昨年12月中旬以降に北日本を襲った大きな寒波では、各地で長時間停電が発生し、生活困窮世帯が数多くあられました。電気が届かないことで、家の灯り、暖房、食事の支度、入浴などに大きく影響し、精神的不安も高まり、これが長時間に及ぶことで命の危険にも繋がってきます。あなたやあなたのご家族の命を守る手法として、普段の生活に以下のA/D/W/F/Sを習慣的に取り入れましょう。

停電下での灯り(A)の確保

- ◆ 懐中電灯・卓上ランタン・その電源となる充電器や各サイズの乾電池を用意
- ◆ ロウソク(ケーキ用の余ったロウソクも貴重です)やマッチ・ライターを用意

※火事を起こさぬよう火の用心をくれぐれもお願いします



停電下での暖(D)の確保

- ◆ 乾電池以外に電源が不要な灯油式ストーブ(燃料の灯油を含む)
- ◆ 衣類(重ね着で対応)や寝具(特に毛布)を十分に備えましょう
- ◆ 食事で暖を取ることも重要です⇒ガスコンロ(2台以上用意)とガスボンベ(一日2~3本使用を目安にして十分な本数を備えましょ

う)

停電・断水下水での水(W)の確保

- ◆ 災害(特に大地震)発生直後にすぐ蛇口をひねって浴槽に水を貯める、バケツになどの容器にも出来るだけ水を貯めましょう
- ◆ 自分家の最寄りの応急給水所を把握しておきましょう:大津ヶ丘中学校、岩井水源地、手賀の杜一丁目ひだまりの公園、二松学舎大学柏キャンパス、風早北部小学校(北部小は生活用水のみ、それ以外は飲料水の給水所)←



自動車でのアクセスは出来ませんので、徒歩で水を入れる容器持参で来場願います。給水車も災害時の医療機関向け優先となり一般市民向けにはおそらく来ません

家族人数分の食料(F)等の確保

- ◆ 災害用の食材は結構自分の口に合わないものがありますので、普段食べている食材を多めに購入し、減った分を必ず補充する習慣(ローリングストック法)をもちましょう→
- ◆ 災害直後はスーパーマーケットやコンビニの商品棚から食料品があっというまに消えてしまいます(災害の程度で配送が滞り食料品が手に入り難くなります)ので、日頃の備蓄が重要です
- ◆ 食料と異なりますが、水洗トイレが流せない状況を想定し、簡易トイレ(便袋・凝固剤・消毒剤の3点セット)の用意も必須です



自分専用品(S)の確保

- ◆ メガネ・コンタクトレンズ・入れ歯・補聴器・歩行器(杖)・処方薬や常備薬など、災害発生後に新規購入が非常に難しい品物は、常時スペアを所有するなど、非常時の対策を考えておきましょう



在宅避難で感染症拡大予防・ペットと一緒に暮らせるといった自宅以外の屋内避難所ではなかなか達成が困難な部分を解決できます。

当会から提案のより安心な避難方法は3月までにお知らせします